

メインテーマ 「繋」

メインテーマ「繋」の一字には、“つながる”：意思を持って人々が交流する、“つなげる”：二つ以上のものを結びつける、“つながり”：関係が長く続く、などといった様々な意味があり、これらが実現するデザコン阿南大会にしたいという願いを込めています。

私たちの世界は、これまでの長い歴史の中で人や文化が“つながり”、また様々な物や技術・表現を“つなげる”ことにより多くのものが生み出され、発展してきました。資源の乏しい日本は、技術者たちがアイデアを出し合い、先進技術の開発を進めることにより、世界の中での日本の価値を高めてきた歴史があります。ここ数年で情報通信技術が飛躍的に発達したことで世界の人々との交流や情報検索が容易になり、技術の飛躍と生活環境の変化が今後急速に進展することが予想されます。

将来の生活環境の安定化に向け、日本は2050年までのカーボンニュートラル実現を宣言しています。本目標の実現には、様々な分野での技術変革が必要であり、高専生は将来的にその一端を担うことが求められます。技術変革を起こすことは容易ではなく、多くの人・分野が“つながり”、技術・アイデア・表現などを上手く“つなげる”ことで具現化していく必要があります。高専生にはこれを実行・実現するための能力が必要となります。さらに、このような能力は、カーボンニュートラルの実現のみならず、より良い未来の創造に役立つものとなります。

本大会が、競技・作品・発表などを通じて人々が“つながる”場として、また、技術・アイデア・表現を“つなげる”場として、そして新たなものが創出されることで現在から未来への長い“つながり”が生まれる場として機能することで、将来に向けて持続可能な世界の構築に寄与することを願います。

主 催 : 一般社団法人全国高等専門学校連合会
主 管 校 : 阿南工業高等専門学校
協力大学 : 豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学
競技部門 : 空間デザイン部門、構造デザイン部門、創造デザイン部門
AMデザイン部門、プレデザコン部門
開催日程 : 実施要項の公開 2024年4月 HP (<https://デザコン.com/>) にて予定
予選作品の受付 2024年8月, 予選結果の発表 2024年9月
本 選 : 2024年11月2日(土)～3日(日・祝)
開 催 地 : 徳島県阿南市
会 場 : 阿南工業高等専門学校(徳島県阿南市見能林町青木265番地)

問 合 先 : 阿南工業高等専門学校 学生課 学生係
TEL : 0884-23-7134 FAX : 0884-22-4232 Email : gakusei@anan-nct.ac.jp

開催部門の紹介

空間デザイン部門 【タテ×ヨコ】

デザコンは、1977年に建築学科のある高専同士の交流会「全国高専建築シンポジウム」から始まり、現在までに構造、創造、AM、プレデザコンとその領域を拡大してきました。「空間デザイン」は当初の「建築」分野のみを扱うのではなく、都市空間や土木構造物、そして、交通や情報空間等を含めた「人が生きる生活環境」という総合的な空間デザインの設計競技(コンペティション)となっています。1次審査ではA2版のプレゼンデータを提出し、全国から提出される100点程度の作品から10点程度にしぼられます。10点程度の作品には全国的に著名な都市計画家、建築家等の審査員からのコメントが出され、2次審査までにプレゼンの修正と模型の作成を行い、本番のプレゼンテーションに挑みます。一高専の設計授業のレベルを超えた学生同士が競い合う場として互いに研磨しあう場として位置づけられています。

構造デザイン部門 【つなげる架け橋】

構造デザイン部門は、紙等の材料を用いて橋や建物の模型を作り、その軽さや強度、デザイン性等を総合評価で競う競技です。今回の構造デザイン部門のテーマは「つなげる架け橋」です。2つ以上に分割された部材が“つながり”、一つとなる橋の模型を作り、その軽さや強度、デザイン性を競うこととなります。今回も前回大会に引き続き、紙を用いて部材を作り、より軽く、丈夫で美しい“架け橋”を製作してください。

創造デザイン部門 【未来につなげる脱炭素な社会】

創造デザイン部門は、地方都市における人口減少や少子高齢化の問題あるいは首都圏をはじめとする中心都市への人口集中といった問題に対し、様々な視点からこれらの問題を解決する競技を行っています。阿南大会では、2050年までに実施しなければならない「脱炭素」への取り組みを踏まえ、新たな視点からこれらの都市問題に対する新しい提案をしていただく予定です。なお、本選では、予選を勝ち抜いた各チームの学生同士がWSにて様々な解決策を考える活動も予定しており、多くの学生同士が交流できる機会になることを期待しています。

AMデザイン部門 【人と人が豊かにつながるものづくり】

AMデザイン部門は、3次元CADと3Dプリンタを用いて新たなものづくりに挑戦する競技となっています。これまで過去2年間「新しい生活様式を豊かにしよう」というテーマで実施され、コロナ禍を意識した便利な製品のアイデアの提案と試作品の展示がなされてきました。阿南大会ではコロナ禍前の人との繋がりを取り戻せるような、身近にあれば便利で人と人が豊かにつながるができるモノの提案を求めます。お母さんと子供が楽しく料理に取り組めるキッチングッズや子供同士がお互いに協調しながら楽しく遊べる玩具など、近隣の方々や身内同士、子供同士が豊かに楽しくつながるものづくりの提案を期待しています。また、阿南大会では3DCADのソリッドワークスジャパン様のご協賛をいただき、AMデザイン部門を盛り上げたいと思います。

プレデザコン部門 【過去⇒現在⇒未来×「繋」】

プレデザコン部門は、本科1年生～3年生を対象として、例年3つのフィールドが設定されています。「空間デザイン」では、現存または過去に実在した空間の透視図が募集され、条件として異なる時間や視点が混在する唯一無二の時空を表現する作品が求められます。「創造デザイン」では、次年度の福井大会で利用するトートバックのデザインが募集されます。提出された作品の中から来場者の投票形式でトートバックデザインが選定される予定です。「AM デザイン」は舞鶴大会よりテーマが変更され、プレデザコンのテーマを表現する3Dプリンタを用いた造形作品で競われます。プレデザコン部門は低学年対象ということもあり、他の4部門に比べると比較的取り組みやすいテーマ設定となっていることが特徴です。